

松 溪 中 学 校

豊かな読書と学びの礎を築く図書館／居場所として愉しむ図書館

今の学校図書館

本校の教育目標である「自学・自立、思いやり・感謝、鍛錬」のうち、特に「自学・自立」達成のため、引き続き学校図書館は大きな役割を担っている。

各教科や総合的な学習の時間などの探究学習だけでなく、休み時間・放課後に生徒が自由に読書したり、課題に取り組んだり、生徒同士の交流を図ったりと、多岐にわたり活用されている。

探究学習では、図書資料・生徒用タブレット端末、新聞（紙と新聞記事データベース）、雑誌等を併用し、繰り返し活動を行うことで、情報活用能力の向上が見られる。

学校図書館の運営

- 学校図書館年間運営計画・指導計画、学校図書館活用年間計画に基づいて運営する。
- 「学校図書館運営委員会」には、管理職、図書館担当教員、各学年の担当教員、学校司書が所属。学期当初・学期末に打ち合わせの場をもち、PDCA サイクルで、運営内容の向上を図っている。
- 活動の広報ツールは、学校図書館だより（LIBRARY NEWS／随時発行）である。全校生徒への配布・学校 HP への掲載を行っている。
- 書誌情報はデータ化し、生徒用タブレット端末や家庭のデジタル端末からも蔵書検索可能である。

1 年間の主な活動

- 1学期** ・図書館オリエンテーション（全学年）
・真夏のおはなし会（図書委員会）
・読書月間 Vol.1（図書委員会コラボ）
・読書郵便作成
- 2学期** ・書評座談会参加（有志）
・すぎなみ本の帯アイデア賞参加（全学年）
・読書週間 Vol.2（図書委員会コラボ）
・クリスマスおはなし会（図書委員会）
- 3学期** ・学習発表会
読書郵便、学校図書館を活用した探究学習の成果物展示
・読書活動のまとめ
（学年まとめ新聞・卒業文集）
- 年 間** ・朝読書（毎朝10分間）
・時事に関連したブックフェア



特色ある取組

● 学校全体で取り組む「朝読書」

- ・各学年及び全学年共通の課題図書（各学年 約80タイトル）を設定し、各学期2冊以上読む。
- ・「読書記録」に、書誌情報や感想など記録
- ・毎学期末に、読書量に応じた表彰。
 - ① 読書マラソン賞…読んだページ数の合計1万ページごとに賞を設け、表彰。
 - ② **【NEW】** 読書目標達成証…毎月50ページの「換算で学期毎の目標ページ数を設定。クリアすると達成証が発行される。読書量のハードルを下げ、モチベーション UP することが目的。

● 探究学習「メルクマール」

- ・「仮説」を立て、学習や現地調査などを経て、課題解決を図る「メルクマール」を、全学年で行う。

● 読書郵便（第三者に向けた本の紹介文）

- ・夏休みの課題として、全学年で実施。（国語）
- ・西田小学校、桃井第二小学校、杉並区立成田図書館と連携し、展示を行っている。

● すぎなみ本の帯アイデア賞 **【NEW】**

- ・2学期読書月間の関連活動として、全学年で実施。（国語）授業を1コマ設定し、作成のアドバイス授業支援を行うことで、生徒へ目的を浸透させる。（5名入賞）



● 各学年のまとめ新聞・卒業文集

- ・1年間の読書について振り返り、読書活動のまとめ記事を書く。

● 図書委員会主催のおはなし会

- ・7月と12月に実施（昼休み）
- ・絵本の読み聞かせ、紙芝居、クイズなど

● 読書週間

- 1学期 給食コラボ／シークレットブックなど
- 2学期 クラス対抗読書パズル／推し本紹介など

これからの学校図書館

図書資料とデジタル資料に加えて新聞（データベース）も積極的に活用し、情報活用能力や思考力・表現力の向上を図る。読書活動も充実させる。生徒たちの憩いの場として、いつでも来たくするような居心地の良い館内環境を整備していく。